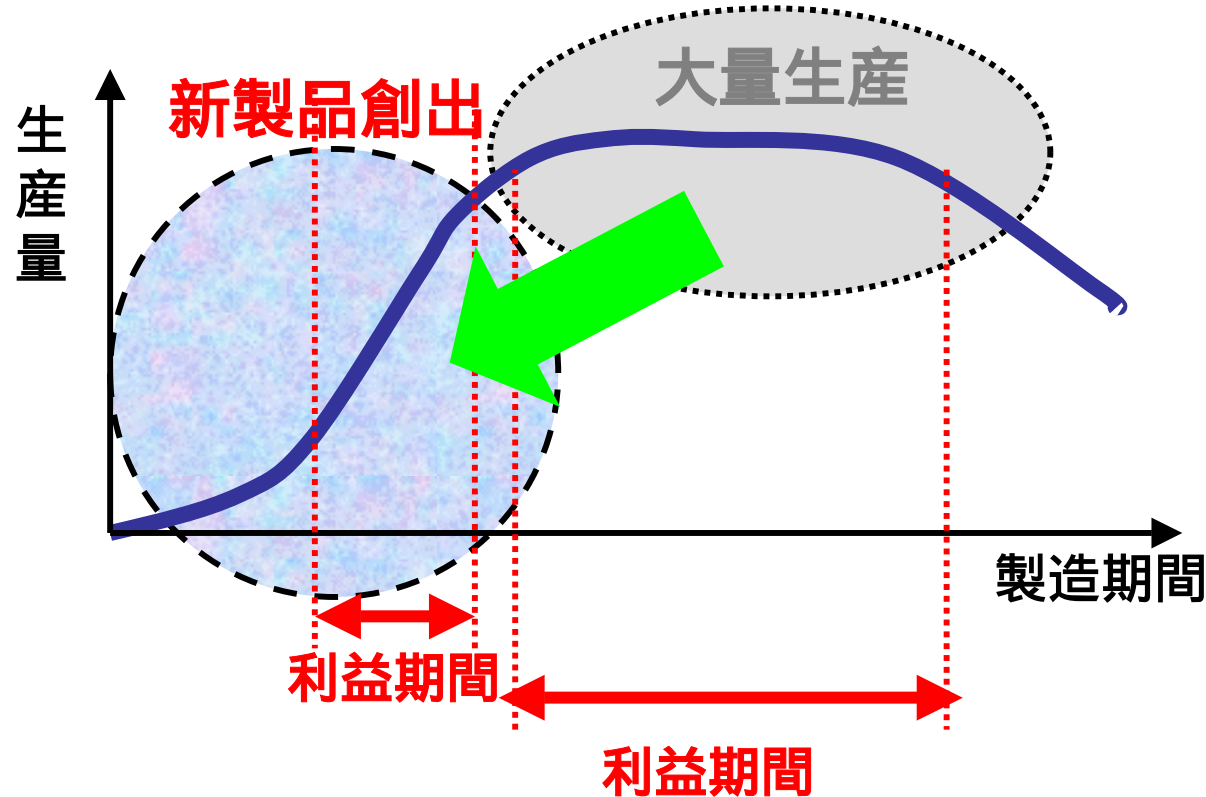


射出成形におけるデジタルエンジニアリング

背景：収益構造の変化



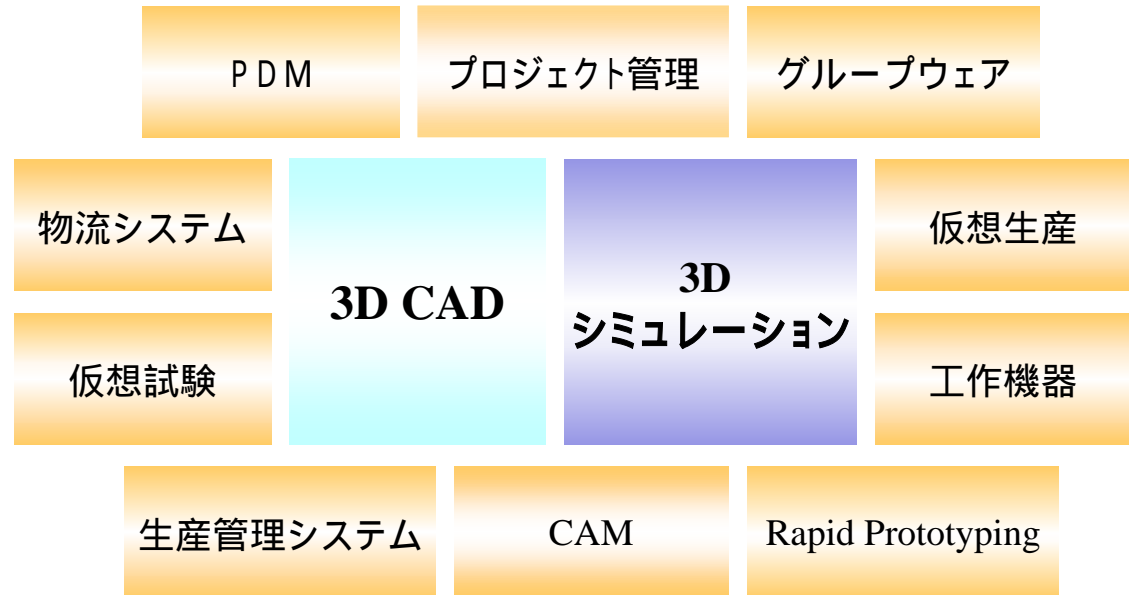
“新製品創出型モノづくり立国”

マーケットニーズの創出

革新的製品の急成長・急拡大

利益極大化：開発先着・即時量産

「新製品創出型モノづくり」



設計～量産各工程のPDCサイクルを
いかに早めるか？

3D CADと3Dシミュレーションを
中心にデジタル化された3次元情報の
共有

モノ作りのデジタル化

(1) 目標の定量化が可能

(サイクルタイムからトータル利益まで工程別目標の連鎖)

(2) 正確な意志伝達

(不正確な書き換えミスの撲滅: 設計ミス、製造ミス etc)

(3) 設計・治具・製造ラインの完全な品質管理

(4) 正確な良品・不良品経験データの蓄積

(5) 不良発生限界の把握

(製品性能と生産性のトレードオフ関係の把握)

(6) 設計パラメータと製品性能、生産性の因果関係を把握

(意味ある設計パラメータの設定)

